

ることでした。
 式典の横で、スタッフのかたがアイスキャンディを作
 って、子供たちに振舞ってました。
 みんな、すごく楽しそうでした。
 今回、大宮西 RC からは 20 万円分
 の医療サプライを提供しました。
 お金は主催会社のフレンズウィズ
 アウトボーダー様に振りこみ、現
 地へは目録を手渡しました。これ
 は、みなさんのニコニコからお支
 払いしています。みなさんのご寄
 付あつての資金協力となっています。



ラオ・フレンズ小児病院は、無償で医療を提供する小児
 病院です。
 フレンズウィズアウトボーダー（非営
 利団体）が運営し、その資金は支援者
 からの寄付によって賄われています。
 今回、フレンズウィズアウトボーダー
 の創設者、井津 建郎さんにお会いす
 ることができました。写真家の方で、ル
 ーシー賞という写真のアカデミー賞と
 言われる賞を受賞されてる方です。井
 津さんは、カンボジアで目の前でお金
 がなく医療を受けられない子供が死んでいったことをき
 っかけに非営利団体フレンズウィズアウトボーダーの設
 立に尽力し、小児病院の設立を実現してきました。
 また代表者の看護師 赤尾 和美さんも、人生のほとんどを
 発展途上国医療にささげている、とても情熱的な方です。



大宮西 RC とフレンズウィズアウト
 ボーダーさんとの関係は、ラオ・フ
 レンズ小児病院の前のアンコール小
 児病院時代からになります。
 トラックの提供や手術室の改修、お
 もちゃの提供から IT 支援まで、10
 年以上の継続した支援を行って
 おります。
 ラオ・フレンズ小児病院の部屋
 の前には、大宮西 RC の支援を PR
 するパネルが飾ってあり、10 年
 前に贈呈したトラックは現役で
 訪問看護の重要な足となってい
 ました。



今回の訪問でお聞きできたことですが、ラオ・フレンズ
 小児病院は全額支援者からの寄付で運営され、最近では
 円安の影響で非常に厳しい資金状況にあるそうです。
 我々、大宮西 RC からの支援金 20 万円も、運営資金のほ
 んの一部にしかかなりえない感覚もあったのですが、代表
 の赤尾さんからは心からの感謝のお気持ちをお聞きでき
 ました。10 年以上前からの支援で累積すると膨大な支援
 であること、また、ラオスに来ていただき、関心をもっ
 ていただけることが本当にありがたいということでした。

2025.02.13. 日本人支援者・クルーズ交流会

今回は単に式典への参加ではなく、
 我々来訪者をととても歓迎いただき、
 感動するおもてなしイベントの企
 画をしていただきました。
 厚木中央 RC は、農場の貯水施設や
 耕運機を贈呈されていて、病院併設
 の農地ではたくさんの野菜が栽培さ
 れていました。「いつか共同で一つのプロジェクトをやれ
 るといいね」と熱い握手をしまりました。



2025.02.13. ディナーパーティー



2025.02.14. パーシーセレモニー



出席報告

■出席委員会 委員長
 福田 美香



スマイル報告

■副 SAA
 谷口 榮正



・齊藤 照夫会員より
 「我が家に今年も春がやって来まし
 た。さいたま造園さんの職人さんに
 丹精込めて手入れしていただいた、
 しだれ梅が満開に咲きました」



・井田 人志会員よりおみやげを
 いただきました

